

## 『“進む再生医療・骨髄” 肝硬変治療への挑戦』

肝臓川柳



『骨髄で 肝臓治療 大賛成』(大賛成…だいさんせい…さいせい…再生)

『肝未来 再生医療が ごつつスゴい』

(ごつつすごい…こつつすごい…こつつずい…こつつずい…骨髄)

……猛暑続きなので許してくださいorz

先週7月30日より8月5日まで読売新聞の医療ルネッサンスに

『進む再生医療・骨髄』の題で5回特集が掲載されました。

再生医療といえば最近ではiPS細胞が有名ですが、

15年前から骨髄細胞を使用した肝臓での再生医療が注目をあびていました。

骨髄細胞には、肝臓に新しい細胞を提供して新陳代謝を促す働きがあり、

自分の骨髄細胞を注射すると肝臓に定着して、肝線維化を改善したり残存肝細胞を増殖させ、肝臓の再生、修復することが出来るとのことです。

山口大学を始めとした全国の施設で数々の実験を繰り返し、

臨床的に骨髄の精製法、投与法を改善しており、

実際に骨髄投与により肝硬変症状が改善した例もみられています。

不治の病とされている肝硬変の根本治療が

肝移植なしに実現する日もそう遠くないと思われそうです！！



これだけ覚えておけば損はない！

今 回 の ポ イ ン ト

自分の骨髄細胞を注射すると肝臓に定着して、

肝線維化を改善したり残存肝細胞を増殖させ、

肝臓の再生、修復することが出来るとのことです

実際に骨髄投与により肝硬変症状が改善した例もみられています。

(文：福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ツ俣 和夫)